

紙^{かみ}トンボを飛^とばそう

～竹ではなく、あえて紙とんぼ～

宮崎 吉造

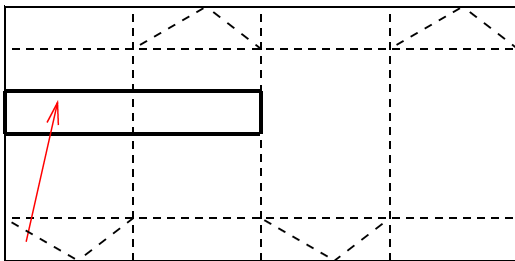
みなさん、竹トンボを飛ばしたことはありますか。大空を優雅に舞う竹とんぼは、一度飛ばしたら何度でも飛ばしたくなる魅力がありますね。竹トンボを作ろうと思っても竹をなかなか手に入れられず、また作るのに危険を伴います。そこで、牛乳の紙パックとストローを利用して、簡単な紙トンボを作ってみましょう。今回、用意した牛乳パック・ストローは、給食の時間に使用したものを再利用しており、簡単に材料を集めることができるので、挑戦してみてください。

1. 用意するもの

- ・牛乳パック(200ml)
- ・ストロー(細くて硬いもの)
- ・ホッチキス
- ・はさみ

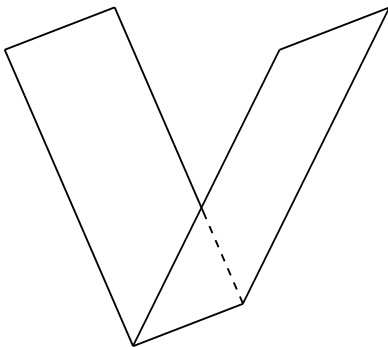
2. 不思議はどこだ

牛乳パック(200ml)を開いて、紙トンボの羽根の部分を作ります。

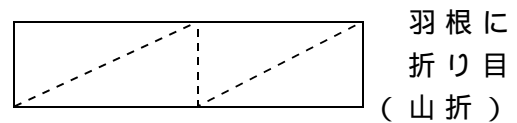
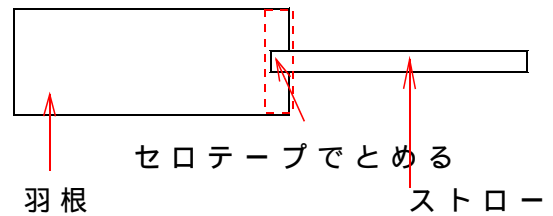


この部分を羽根にします。
幅は2cm程度

で作った羽根を半分に折ります。



で折り曲げた羽根に、ストローをホッチキスでつけます。



ストローを持ち、内側に回転をかけながら飛ばすと、くるくると回りながら飛びます。

3. 考え方

- ・紙トンボの羽根が、浮力を受けて飛びます。

4. 実験のカンどころ

- ・ストローが大きすぎるとあまりよく飛びません。羽根の部分の大きさは自由にかえられます。

5. もっと知りたい人へ

- ・新版 理科3年生
株式会社新興出版社啓林館
平成11年12月10日発行
みやざき よしぞう 霧多布中学校